

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第1回相模原市地域福祉推進協議会部会				
事務局 (担当課)		健康福祉局 福祉部 地域福祉課 電話 042-769-9222(直通)				
開催日時		令和元年6月27日(木)午後3時~午後4時30分				
開催場所		相模原市民会館 2階 第2小会議室				
出席者	委員	6人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	3人(地域福祉課長他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 部会長選出 3 議 題 (1) 市再犯防止推進計画について (2) 市成年後見制度利用促進基本計画について 4 その他 5 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局等の発言)

- 1 開会
- 2 部会長選出
- 3 議題

(1) 市再犯防止推進計画について

市再犯防止推進計画(案)について、資料に基づき、事務局から説明を行った。

【主な取組内容について】

○社会を明るくする運動は、保護司会、更生保護女性会を中心になって行っているが、なかなか認知度があがらない。アンケート結果をみて非常にショックを受けた。社会を明るくする運動推進委員会全体でもっと周知しなくてはならない。そのためにも、市の広報紙に大きく掲載し、市民に知ってもらう必要がある。

○「市民の犯罪予防意識を高める取組」「関係団体への活動支援」「対象者への支援」というように、取組に関して誰に向けた内容なのか、明確にする必要があるのではないかと。

○「社会を明るくする運動」という名前は一般的にわかりにくい。

○地域定着をもっと強く。地域に埋もれている人をどうやってみつけていくかが問題である。

○問題を地域としてとらえていく必要がある。コミュニティソーシャルワーカーとの連携も必要ではないかと。

○「再犯防止推進計画」の名称はどうなのか? 「更生支援」という名称を使っている自治体もある。

「再犯防止推進計画」という名称については、ほかの名称を考えてもいいのではないかと、庁内の部会でも意見が出ている。国に確認し、検討する。

【ネットワーク連絡会議について】

○再犯防止に関しては、人権に絡む内容もある。ネットワーク会議で何を行うのか。各種団体との連携で司法と福祉の関係が円滑になることはいいことである。関係機関には福祉事業所協会等を含めることも検討していただきたい。

○非行防止も重要な再犯防止の施策となっている。教育関係も関係機関に入れる必要があるのではないかと。

○地域活動団体は、横のつながりも必要である。

現在、再犯防止に関する関係団体の横のつながりがいない状況のため、まず、情報共有の場として、ネットワーク会議を開催したいと考えている。この会議を今後どのように展開していくのか、よく検討していきたい。

(2) 市成年後見制度利用促進基本計画について

【課題について】

○「成年後見制度の利用が必要と思われる方が、制度の利用に結びついていない」とあり、その説明に「認知症高齢者の数」が使われているが、認知症高齢者は全て、制度の利用が必要なのか。

○認知症高齢者の推移を取り入れていいのか？推移自体を作成していない自治体も出てきていると思う。

○本当に成年後見制度の利用を促進して、市の財政は大丈夫なのか。例えば認知症高齢者が全て制度を利用すれば、利用支援事業による財政負担ももちろん、市民後見人の養成も今以上に取り組まなければならない。

○現在の課題では、「認知度が低い」とことと「利用に結びついていない」が挙げられているが、「支援が必要な人が発見できていない」ことも含めたほうがよいのではないか。再犯防止推進計画では「発見」が課題と明記されている。

○制度を使わなくても生活できる認知症の方もいることを意識して計画を策定すべきである。

【今後の取組の考え方について】

○本人が意思決定できる時点で、成年後見制度の利用について相談できる環境を整えることは大変重要なので、今後の取組の考え方に「早期の段階から、相談や制度の利用がしやすい環境を整える」ことが入っているのはよいことと考える。

【主なと取組内容について】

○親族後見人への支援について、一切記載がない。

○国では、認知症関連の養成研修に意思決定支援プログラムを加える動きがあるが、後見人等を対象とする研修、人材育成についての記載も必要ではないか。

○発見、相談できる環境づくりという観点からは、地域で活動している民生委員・児童委員や地区社会福祉協議会などへの成年後見制度に関する研修も加えてよいのではないか。

○せっかく22地区にコミュニティソーシャルワーカーを配置しているのだから、早期に発見、相談できる仕組みの中に、組み込めばよいのではないか。

○市民公開講座は大変重要な取組で今後も続けてほしいが、今のように個別相談会との組み合わせをしっかりと維持してほしい。個々に相談できて初めて効果があると考える。

○法人後見の育成などは盛り込まなくてよいのか。

4 その他

次回開催日は後日調整することになった。

5 閉会

相模原市地域福祉推進協議会委員 出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小野 敏明	特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 田園調布学園大学名誉教授	部会長	出席
2	江崎 智彦	神奈川県弁護士会		出席
3	江藤 博之	相模原市保護司会協議会		出席
4	志方 洋一	公益社団法人 神奈川県社会福祉士会		出席
5	田中 和亜	公益社団法人 成年後見センター・ リーガルサポート 神奈川県支部		出席
6	渡辺 幸雄	公募市民		出席